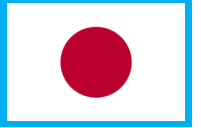


在福岡タイ王国総領事館のアッタカーン 総領事を表敬訪問



2018年10月1日に福岡市にタイ王国総領事館が開所しました。この機会に、本学の大谷常務と現在FBKスタディーツアーの引率でキングモンクット工科大学（以下 KMITL と略称）から本学を来訪している国際部の職員2名と本学国際戦略室職員1名を含む4名が、10月24日にアッタカーン・ウォンチャナマース総領事を表敬訪問しました。本学の大谷常務理事と KMITL の国際部のディレクターである Lalita さんより、本学と KMITL は 2008 年に学術交流協定を締結後、ジョイントプログラム、サマープログラム、タイ短期派遣研修、PBL プログラム、ジョイントセミナーなど多岐に亘る協働プログラムを展開し、今年で 10 年目を迎えることが述べられました。アッタカーン総領事からは、「在福岡タイ王国総領事館ではタイ日関係の経済的側面のみならず、教育的な側面においても交流の促進を図っていくことをミッションとして掲げているため、両校が 10 年に亘り交流を育んでいることは非常に喜ばしい。今後も両大学間の交流の発展を祈念するとともに、今後は福岡に在籍するタイ人学生の支援を行っていきたい。」との意向が示されました。本学と KMITL では今後も学部生や大学院生を対象とした各種プログラムの実施を促進するとともに、在福岡タイ王国総領事館との協力を深め、両校の学生の学びの質を高めることを目指します。（国際戦略室）

【本学と KMITL との連携】

- ・学術交流協定を締結（2008年）
- ・サマープログラムにおける KMITL 学生の受入れを開始（2009年）
- ・ジョイントプログラムにおける覚書の締結（2010年）
- FIT-Bangkok Office at KMITL (FBK)として、本学の日本語センター兼オフィスを設置。FBK 経由の学生の受入れを開始。（2011年）
- ・科目等履修生の相互受入れに関する覚書を締結（2011年）
- ・工学部間の覚書を締結（2012年）
- ・タイ短期派遣研修を開始（2015年）

【実績例】

- ・ KMITL サマープログラムの受入：236名（2008年～現在）
- ・ジョイントプログラムによる受入れ（FBK 経由の学生）：42名（2011年より現在）
- ※現在 19名のタイ人留学生在籍中（学部、修士、博士）
- ・タイ短期派遣研修の学生派遣：30名（2015年～現在）



（ポーンパン・プーピアンジャイ領事、KMITL 国際部ラリータディレクター、アッタカーン・ウォンチャナマース総領事、本学大谷常務理事、KMITL 国際部ノンヌットさん、本学国際戦略室 吉井）

【FBK スタディーツアー】

本学が KMITL と締結した覚書に基づき、タイ人の高校生および KMITL 工学部の卒業生が KMITL の大学内に設置する日本語センター（FBK）に入学し、集中的に日本語学習を行った後、本学の学部・大学院入試における合格者に対して奨学金を付与するジョイントプログラムです。FBK スタディーツアーでは、FBK に入学をしたタイ人の学生が本学を訪問し、将来学ぶ研究分野に対する理解を深め、志願するための方向性を検討する機会となっています。

掲示期間 H-30-177
10月26日～11月14日

この件のお問い合わせは広報課へ